

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 22 日 (2012.11.22)

【公開番号】特開 2011-68250 (P2011-68250A)

【公開日】平成 23 年 4 月 7 日 (2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報 2011-014

【出願番号】特願 2009-220671 (P2009-220671)

【国際特許分類】

B 6 2 M 7/02 (2006.01)

B 6 2 J 99/00 (2009.01)

【F I】

B 6 2 M 7/02 D

B 6 2 J 39/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 10 月 4 日 (2012.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記ラジエータの後部には、前記ラジエータに風を導くラジエータファンが取り付けられており、

前記シリンダヘッドカバーには、前記ラジエータファンの一部が入り込む他の凹部が、前記ラジエータの一部が入り込む前記凹部と連続して形成されることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の小型車両のシリンダヘッドカバー構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

図 1 は、本発明の小型車両のシリンダヘッドカバー構造が適用される自動二輪車の左側面図であり、図 2 は車両前部を拡大して示す左側面図である。

図 1 に示すように、この自動二輪車 1 は、車体フレーム 2 を有し、この車体フレーム 2 は、合成樹脂製の車体カバー 7 で覆われている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

このエンジン 20 のシリンダ部 22 背面には、エンジン吸気系を構成するスロットルボディ 51 (図 2 参照。) およびエアクリーナ 52 が順に接続され、シリンダ部 22 前面には、エンジン排気系を構成する排気管 54 およびマフラー 55 が順に接続される。

詳述すると、シリンダブロック 22 A には、二本のシリンダ 40 が備えられ、各シリンダ 40 にはピストン 41 が摺動自在に配置されている。シリンダヘッド 22 B には、吸気弁 42、排気弁 43、カム軸 44 およびロッカーアーム 45 を備えたロッカー軸 46 が設

けられている。二本のシリンダ 4 0 からシリンダヘッド 2 2 B 背面へ向かって延びる各吸気ポート 4 7 は、インテークマニホールド部 4 8 によって一本にまとめられ、単一のスロットルボディ 5 1 に接続される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

これにより、図 3 及び図 6 に示すように、ラジエータ 2 5 は、その下側ブラケット 7 9 b をシリンダヘッドカバー 2 2 C の取付部 9 4 に嵌めこんだ状態で、コア部 7 0 の上側板部 7 8 に左右方向に間隔をあけて上方に延びる一対の上側ブラケット 7 8 c、7 8 c が、弾性材料からなるグロメット 9 5、9 5 を装着されて、上部ダウンスレーム 6 B の前部から下方延びる一対のステー 6 D、6 E にボルト 9 6 a、9 6 a 及びナット 9 6 b、9 6 b によって締結されることで、ダウンスレーム 6 及びシリンダヘッドカバー 2 2 C に取り付けられる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

